

東陽病院管理者に

斉藤

譲町長就任



私は、去る六月九日に開催された組合立東陽病院議事に於て管理者に選任されました。東陽病院は、創立以来関係者のご努力により、今日まで地域

の医療機関としてその役割を果してまいりました。

しかし、この過程に於ては、医師の不足や、近隣病院の充実等により、利用者が激減し信頼を欠いた一時期もありましたが、横芝・野栄両町のご協力と、院長はじめ医師、職員の献身的な努力により、昨年頃から利用者が急増し、経営的にも安定してきております。特に現在は、内科、外科等に優秀な医師を確保し、診療体制は極めて充実した状況にあります。

当管内の各町とも人口の高齢化が進行し、今後益々受診率が高まることは必至で、身近に充実した病院が求められるところであり、従って、東陽病院の存在は極めて重要であり、先般実施した住民アンケートにも大きな期待が寄せられているところであります。

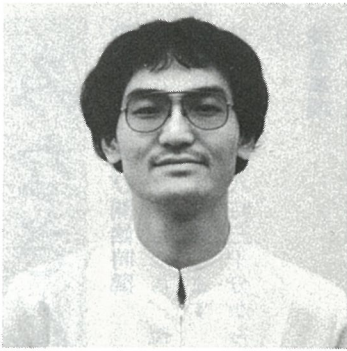
現在、関係町と協力して当病院の将来構想を策定中であり、住民が安心して利用できる地域の中核病院として一層の設備と内容の充実を図りたいと考えて

おります。東陽病院は町民皆様の病院です。積極的にご利用いただきと共に、お気づきの点がありましたら遠慮なくご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。あげ管理者就任のご挨拶といたします。

東陽病院

小高内科医師着任

医局の陣容更に充実



東陽病院では、内科三名、外科三名、産婦人科一名の常勤医師が働いておりますが、六月十六日から、新しく内科に小高達也医師が着任いたしました。小高医師は千葉県救急医療センター等で十分経験を積まれており、地域医療の実践に大きな力になるものと期待されます。内科医師については、今まで

の桜井院長、中村医師、粕谷医師と今回着任した小高医師を併せ四名の常勤医師となり、医局の陣容は更に充実いたしましたので、地域の皆様の病院として気軽にご利用ください。

なお、外科部門については、篠原副院長、佐藤院長、前田院長の三名の常勤医師が、がん・胃腸病等の手術は勿論、その他の一般外科診療についても誠心誠意努力をしているところであり、また、近年医師の充実により、救急医療、がん検診事業等にも力を注いでおります。

7月から 八匝地域内の五病院で 休日の二次救急医療実施

今月から八日市場市匝瑳郡医師会の協力で「二次救急医療業務」が実施されます。

これは、現在実施中の休日在宅当番医制（一次救急）を補うもので、休日に一次診療では処置が困難な重症患者を、次の五つの病院等が輪番制で診療にあたるものです。

診療科目は内科と外科で、一次診療からの転送患者に限定し夜間を除いて実施されます。

この業務の開始で、休日の二次救急医療体制が、八匝地域内の病院等により確立されました。

尚、実施主体は、八日市場市・光町・野栄町です。

二次救急医療機関
東陽病院（内科・外科）

八日市場市立病院（内科・外科）

九十九里ホーム病院（内科・外科）

藤田病院（内科）
守 医院（外科）

